淡路勢が大活躍

4、5年の部で優勝　6年は四郷(姫路)

兵庫県少年大会

第10回兵庫県少年大会は11月6、13の両日、尼崎市内の3会場に分かれて、熱戦がくり広げられた。大会は2日間とも寒い雨の中で行われたが、各地域の代表チームはファイトいっぱいの元気なプレーをみせた。4年生の部では西淡・湊が決勝で三木を6―0で下し、5年の西淡・津井も姫路代表の津田を大差で破るなど淡路の代表チームの活躍が目立った。また、6年生では姫路代表の四郷が数少ないチャンスをものにして優勝。

優勝したチームを含めて、上位に進出したチームは練習量が多い。ほとんど毎日か、あるいは週3回以上練習をやっているというから、やはりボールをさわることの大切さがわかる。ただ、練習量の割には、まだまだボール扱いにかたさが残る。また、ここ数年の成績をみると淡路、姫路などが強く、都会チームの後退が続いており、兵庫県内の地域差は全くなくなったといってよい。

▷4年生の部 決勝

西淡・湊　6―0　三木

▷5年生の部 決勝

西淡・津井　9―0　津田

力の差がはっきりした西淡の一方的なゲーム。準決勝で接戦の末、強敵東灘を下した西淡は決勝でも自分たちのペースで試合を展開し、9点をあげた。

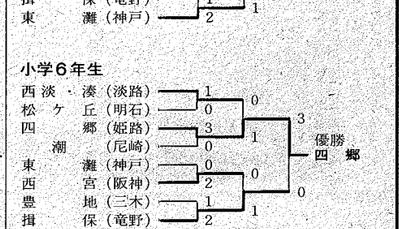
▷6年生の部 決勝

四郷　3―0　揖保

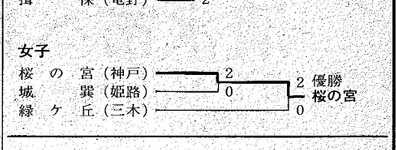
前半の途中までは揖保の優勢が続いたが、ゴール前の決め手がつかめないまま時間がすぎた。これに対して四郷は落ちついて守備をかため、少ないチャンスを確実に決めて結局3―0で押しきった。

PEPSI

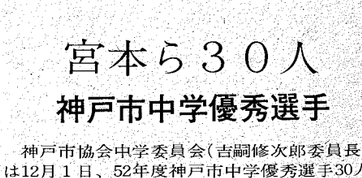
小学4年生



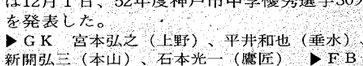
小学5年生



小学6年生



女子



緑ケ丘に初の栄冠

部創立2年目で快挙

兵庫県中学校選手権大会

52年度兵庫県中学校選手権大会は県下各地の代表32チームが参加して行われ、北播代表の緑ケ丘が大久保を下して初優勝を飾った。

▷決勝

緑ケ丘　1 (1―0 / 0―0) 0　大久保

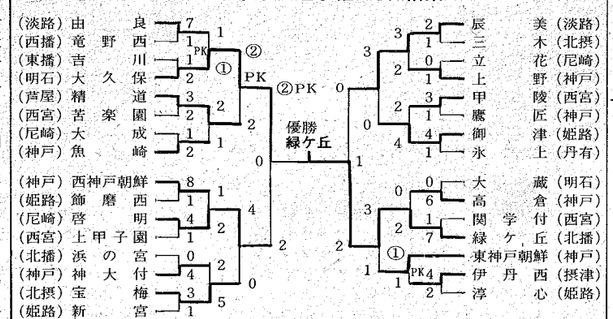
11月23日、神戸中央球技場での決勝戦は、前半の途中まで慣れない芝生に足をとられ動きにかたさが見られたが、個人技の高い緑ケ丘が再三チャンスをつかみ、前半25分ゴール近くのスローインから混戦となり、ボールをゲットした森田がバックパス。これを江副が左足で20メートルのロングシュートを決めた。その後も緑ケ丘は浅井、森田らを中心として7割方ボールをキープし、楽な試合運びとなったが、大久保のGK三好の好守にはばまれて、追加点をあげることはできなかった。

緑ケ丘は学校が創立して2年目で、中学兵庫一の栄冠を手にした。選手の大半は小学生のころからサッカーに親しんでおり、中には49年の全国少年大会に出場した選手もいる。

そのうえ、広いグラウンドに恵まれ、練習量も多いが、ドリブル、フェイントなど個人の基礎技術とパスを重視した指導方針が試合に生きていた。

初優勝に輝く緑ケ丘イレブン

兵庫県中学校選手権大会 結果



宮本ら30人

神戸市中学優秀選手

神戸市協会中学委員会(吉嗣修次郎委員長)は12月1日、52年度神戸市中学優秀選手30人を発表した。

▶GK　宮本弘之（上野）、平井和也（垂水）、新開弘三（本山）、石本光一（鷹匠）　▶FB　藤本和彦、和食善文（以上高倉）、田中正典、黒沢勝（以上上野）、北田年彦（布引）、宮崎洋次（湊川）、寺内英夫、池本徳良（以上鷹匠）

▶HB　山本智広（魚崎）、佐藤和雄（本山）、森崎哲二（布引）、古沢英明（鈴蘭台）、山本利行（上野）、西川弘治（湊川）、陰山幸雄（玉津）藤田孝史（高倉）、田中浩一（本庄）、小林匡樹（鷹匠）　▶FW　湊邦三（本庄）、松本隆行（高倉）、大路浩充、高下聡（以上鈴蘭台）、福本秀史（布引）、中田良一（玉津）、井若亟二、三好浩一（以上鷹匠）　＝30人

個人講読のご案内

弊紙を個人で講読ご希望の方は、1年分として50円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒657 神戸市灘区上野通6丁目3―12
加藤　正信　☎078（861）3100

なお、数人分をまとめて申し込まれる場合は、郵送料の割引がありますのでご連絡ください。

PEPSI

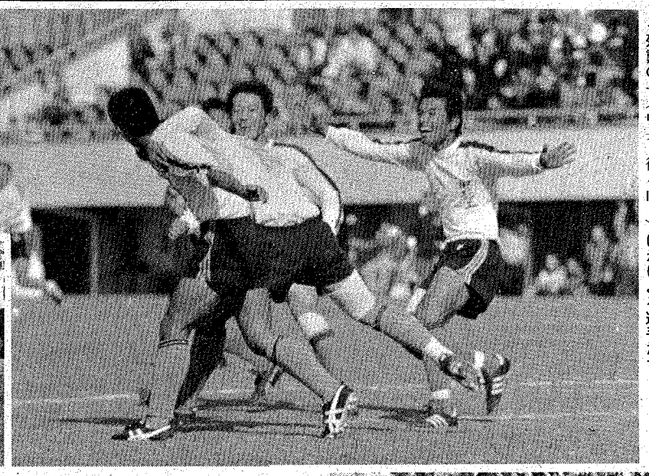
月刊
神戸のサッカー

1977 12月号

発行所　神戸市サッカー協会
神戸市北区有野台7丁目16―6
〒651-13　☎(078)981―5867
発行人および編集人　加藤正信
神戸市灘区上野通6丁目3―12
〒657　☎(078)861―3100
毎月1回10日発行　購読料1部20円

全国高校選手権兵庫県予選

御影工が晴れの兵庫代表に――。全国高校選手権兵庫県予選は11月23日、参加120チームの中から勝ち抜いた御影工と明石南が、全国大会出場をかけて対戦した。試合は決勝戦らしく、両チームがきわどい攻防を展開。御影工は後半7分、右からあげたセンタリングが風に流されて明石南GKの頭を越え、つめていた塩形が決勝のシュートを決めた。御影工は44年以来、8年ぶりの決勝進出で念願の初優勝を飾った。



▼前半37分、御影工の与（白）がシュートを決める（決勝　御影工―明石南、11月23日　神戸球技場）
◀殊勲の与（中央、後ろ向き）にかけよる選手たち

御影工が初優勝

明石南を下す　神戸の3連覇ならず

決勝戦は11月23日午後12時10分から、神戸中央球技場で御影工と明石南の間で行われた。

▷決勝

御影工　4 (1―0 / 3―1) 1　明石南

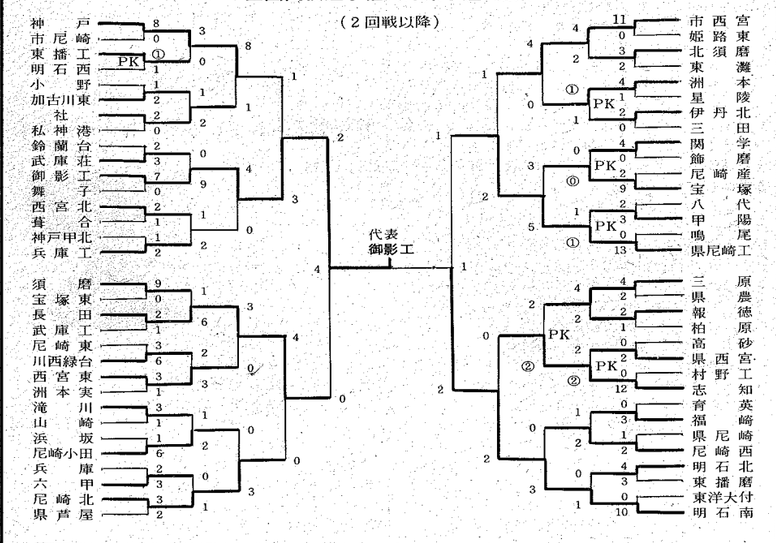
明石南は立ちあがりから積極的に動き、御影工のテクニックをよく抑えた。そして長いパスを前線へ送り御影工のゴールを攻め、20分ぐらいまでは互角の勝負をみせた。しかし、スピード、シュート力、キープ力にすぐれた御影工は次第にペースをつかみ前半37分、後ろからパスを受けた塩形がゴールをねらうとみせかけて、相手バックスを引きつけながらボールを横へ流し、1年生の与(よ)が先制シュート。

1対0で迎えた後半6分、明石南は幸運なPKを得て、立花が確実に決めて同点。これで明石南が反撃に出るかと思われたが、その1分後に、御影工はORの福田がロビングのセンタリングをあげ、これが風に流されて明石南の長身GK板崎の頭を越えてバーに当たり、落ちたところをCF塩形が難なく決めて再びリード。

明石南はチームの要である新居が準決勝の試合で骨折し、中盤の構成力が弱くパスワークが生きなかったため、決定的なチャンスがつかめない。一方の御影工は塩形の得点でが然、勢いにのり12分に主将・柳がダメ押しのPKを、さらに27分にはゴール前の混戦から、この日大活躍の与が鮮やかなボレーシュートを決めるなど、後半は御影工の一方的なゲーム展開となった。

全国高校選手権兵庫県予選 結果

（2回戦以降）



兵庫の高校サッカーに新しい動きが……

決勝に進出した御影工と明石南は、ともに比較的新しいチーム。過去10年間の成績をみると神戸が4回優勝、以下報徳3、関学2、西宮東1となっている。いわば名門チームが兵庫を制し続けていた。それが、ここ数年になって「打倒神戸」を合言葉に全チームが闘志を燃やし始めた。御影工、明石南に共通していえることは、両チームとも有能な指導者に恵まれている。監督4年目にして初優勝をとげた一北監督は、これまで少年団や中学チームの育成に力を注いできた。中学時代に教えを受けた優秀選手も少なくない。今年は特に柳、田中ら素質のある選手がチームをよくまとめ、一北監督の一つの夢が実現した。また、長岡監督もサッカーにかける情熱ならだれにも負けないものを持っている。少年サッカーではレベルが高くない明石地区で、ここまで育てあげた功績は評価したい。「神戸が敗れた時に兵庫のレベルアップが始る」といわれた高校サッカーで、いま確かに新しい流れが生まれようとしている。

天皇杯全日本選手権

52年度のサッカー日本一を決める天皇杯全日本選手権決勝大会の準決勝が12月30日、神戸市立中央球技場で行われます。12月上旬に日本協会から発表された組み合わせによると、ヤンマー、日立製作所、古河電工など強豪チームのいるゾーンの試合が組まれています。決勝大会は12月11日から始まり、準決勝のカードは未定ですが、順当にいけば日本リーグのチーム同士の対戦が予想されます。特に地元のヤンマーは、日本リーグでも絶好調のエース釜本をはじめ、全員が攻撃的なサッカーをみせており、準決勝を勝ち抜いて決勝進出を果たそうと意欲的です。主管の兵庫協会では、女性と小学生の入場を無料として、皆様方のご来場をお待ちしています。どうぞおさそい合わせの上、52年の最後を飾るビッグゲームにお越しください。なお、前座試合として神戸市中学生の東西対抗が行われます。

▶写真は近藤信行氏提供

女性は無料

12月30日、見逃せない準決勝

【とき】12月30日（金）午後2時キックオフ　【ところ】神戸市立中央球技場＝神戸市兵庫区御崎町1丁目、三宮国際会館前から市バス⑩、㉛系統で25分。国鉄神戸、高速神戸駅前からも市バス⑩、㉛系統で15分　【入場料】一般800円（前売り800円）、中高生400円（350円、ただし女性は無料。また保護者のいる小学生および成人の引率者がいる小学生団体も無料。団体の場合は前もって神戸市協会へ連絡のこと）

【前売り券の発売】さんちか・インフォメーションこうべ☎332－1570、関正スポーツ☎371－0857、灘スポーツ☎861－4671、オウビ☎242－3667、ヤノスポーツ☎391－1121、加茂そごう店☎221－4181、神戸新聞会館プレイガイド☎231－4801、いずれも神戸078局。12月5日より発売中。ただしプレイガイドのみ正価発売。

前座に中学の東西対抗

準決勝に先立ち、午前11時より神戸市中学選抜による東西対抗が行われます。ぜひ、中学生の元気あふれるプレーにご声援ください。

六甲ヒルケル 川重発本 2部で優勝

終盤迎え熱戦続く社会人リーグ

神戸市社会人リーグは終盤を迎え、激しい順位争いが続いているが、いくつかのブロックでは優勝チームが決定した。

まず、1部は現在、神大同好会がトップであと1勝すれば優勝がきまる。社会人中央大会が先に行われ、リーグ戦の興味がそこなわれたかっこうだが、神大同好会は着実に勝ち点をあげた。2部も優勝チームが決定。Aブロックでは六甲ヒルケルが7戦全勝の圧倒的な成績をあげ、Bブロック1位の川重発本とともに来年度1部へ昇格する。3部ではBのケンタッキーが12月11日、優勝をかけて新日本検定と戦う。Cのあしかびクラブは最終戦に負けても勝ち点が13となり、これも優勝がきまった。Eブロックでは2位以下のチームが、残り試合でつぶしあいを展開することが予想され、三菱電機の優勝がかたい。このほかA、D、F、Gブロックは、いよいよ最後の星勘定がきびしくなり白熱の好ゲームが続く。なお、3部の各ブロックの優勝チームも来年度は2部へ自動的に昇格する。

（12月4日現在）

1部

神戸ライオン　2勝5敗1分、神戸製鋼　3－3－1、神戸市役所　2－4－1、マックエルフ　4－2－0、葺合クラブ　3－3－0、神大同好会　6－0－0、神戸FCユース　2－3－1、スワローFC3－3－1、双和クラブ2－4－1

2部

【A】舞子台クラブ　3勝2敗0分、電々神戸0－6－1、ビートルズFC　2－5－0、須磨クラブ　3－2－1、神戸スポマン　3－2－1、神戸かつおぶし　2－2－1、川鉄建材　2－3－0、六甲ヒルケル　7－0－0　【B】川重西神戸1－5－2、KR&AC　4－2－2、南神戸朝鮮　1－4－1、魚崎クラブ　3－3－1、大森廻漕店　2－4－1、神戸FC・A　1－1－5、三菱重工B　2－2－4、川重発本　5－0－3、赤塚山OB　4－2－1

3部

【A】太陽神戸銀行　1勝6敗0分、川西倉庫　5－1－1、神戸税関　4－1－1、アーセナル　4－3－0、エンジョイ　0－8－0、兵庫教員B　6－1－0、是則運輸　2－3－1、神戸北OB　4－1－2、川鉄葺合　2－4－1　【B】ケンタッキー　5－0－0、海事検定　2－4－0、兵庫朝鮮　5－1－0、三洋電機　3－3－0、新日本検定　2－3－0、双和OB　3－3－0、県職神戸　0－7－0、鶴甲1丁目　4－2－0　【C】阪神変圧器　0－7－0、星陵クラブ　2－4－1、神戸FC・B　4－2－0、神戸ドクターズ　3－3－0、神港クラブ　2－3－1、三菱ユース　4－2－1、ナブコマイティ　3－2－2、あしかびクラブ　6－0－1、三井倉庫　2－3－0　【D】神戸市役所B　6－1－0、神大OB　5－0－2、垂水プレイ　1－4－2、神戸市水道局　1－4－2、大協　4－3－0、西菱エンジ　0－5－1、アパッチ　5－1－1、富久娘　0－6－1、国鉄鷹取　4－2－1　【E】コーベアーベンツ　5－2－0、三ツ星ベルト　1－6－0、摩球クラブ　1－6－0、会下山クラブ　4－2－0、川鉄本社　3－2－1、三菱電機　6－1－0、リバーサイド　3－2－0、MSカイザーズ　2－5－0、滝川OB　3－2－1　【F】住友ゴム　4－0－3、灘FC　3－0－3、タツクラブ　1－3－2、大同生命　1－1－3、白鶴　2－3－1、ホワイトソックス　3－1－2、クレモナ　2－2－2、三星堂　0－6－0　【G】朝銀信用組合　3－2－1、灘神戸生協　4－1－1、YMCA　1－4－0、R&G　1－5－0、ロジェ　4－2－0、関電神戸　2－2－1、兵庫県庁　5－1－0、富士電機　1－4－1

神戸市社会人リーグ運営会議

12月15日（木）

1月19日（木）　2月16日（木）　3月16日（木）

参加募集

53年度天皇杯全日本選手権兵庫県大会

資　格　52年度日本協会への登録を完了した日本人を主体とする単独チーム

大会日程　53年4月－7月（予定）

申し込み　兵庫協会まで申し込むこと
52年度の登録を済ませているチームに対しては、協会より申し込み用紙を郵送する。

締め切り　53年1月末日

問い合わせ　中村寿男☎078-861-7069（自宅）
河北穎数☎0798-47-2428（自宅）

代表者会議　とき　2月上旬の予定

本紙は次のところにもあります

関正スポーツ
生田区下山手通6丁目65　☎078(371)0857
兵庫県庁300m西側

灘スポーツ
灘区倉石通5丁目1－8　☎078(861)4671
市バス水道筋6丁目上がる100m東側

ヤマダスポーツ
葺合区熊内通6丁目3　☎078(241)9317
雲中小学校前

塩谷スポーツ
兵庫区大開通7丁目5　☎078(576)0870
パンドゥ化学南

MEN'S SHOP MAC
三宮センター街店　☎078(391)0895
ブレザーショップ　☎078(391)0896
トーアロード店
神戸・新開地店　☎078(575)7688

社会体育優良団体

神戸FCに文部大臣賞

少年の育成に貢献

社団法人神戸フットボールクラブ（神戸FC）は10月7日、東京都において社会体育優良団体として文部大臣から表彰された。この制度には社会体育に貢献した団体の中でも、その活動と運営が計画的にしかも組織的に行われているものという条件があり、神戸FCもそうした形での貢献が認められたものである。

神戸FCは昭和45年12月、日本で初めての社団法人格（現在でも唯一つ）のクラブとしてから7年目、その前身、兵庫サッカー友の会の設立から数えて14年目に輝かしい栄誉を受けたわけである。

兵庫友の会は昭和38年12月、1007人の会員が次の五つの夢の実現を目指して発足した。

1．少年サッカーの育成
日曜学校の運営とスポーツ少年団の育成
2．国際サッカー場の建設
3．芝生のサッカー場（特に少年専用）の建設
4．クラブチームの編成と強化
5．サッカー王国兵庫・神戸の復活

神戸FC会館とクラブのマイクロバス（神戸市灘区上野通6丁目）

友の会は、神戸少年サッカースクールの膨張に伴い、専属技術職員の必要性に迫られ、財政の確立を目指して法人化を企画し、神戸FCを誕生させた。そして、友の会はすべての事業をこのクラブに移管して、発展的に解消した。実現にはたっぷり10年はかかると思われた友の会の夢（当面の目標は1－4項）は会員の努力によって、ほぼ7年で正夢となった。友の会と神戸FCが築いた14年間の成果を顧みると

1．少年サッカーの育成
①神戸少年サッカースクールの運営
現在611人の生徒が56人の指導者の奉仕に支えられた日曜、土曜学校に通っている。この12年間の修学生徒数は実に10,453人にも及ぶ。
②スポーツ少年団の育成
昭和41年11月、神戸市に初めて13団が生まれてから45年までに48団となった。44年2月、友の会が主催した第1回兵庫少年大会には、大阪からの参加を含め48団が集まった。そして、今日の少年サッカー隆盛時代を迎える。

2．神戸市立中央球技場と御崎少年サッカー場の完成
友の会とサッカー協会が緊密な連絡をとりながら、中央球技場は44年12月、少年サッカー場は45年7月、ともにりっぱな芝生のグラウンドが完工した。

3．クラブチームの編成と強化
神戸FCには、別表に示すチームがあり、老いも若きも男も女もゲームを楽しんでいる。

このような神戸FCの地道な運営が組織的、計画的に行われ、社会体育として成果をあげている点が認められてこの度の受賞となった。

なお、同クラブでは受賞記念アルバム「目で見るK.F.C.」を発行し、一般にも配布している。ご希望の方は50円切手17枚（郵送料込み）を同封のうえ、お申し込みください。（カ）

あて先
〒657　神戸市灘区上野通6丁目3－12
神戸フットボールクラブ
加藤正信　☎078(861)3100

部・チーム別		チーム名	編入資格	練習、試合
成人部	代表チーム	KFC1970	代表選手選考委員会の選考による	週3～4回
	シニアチーム	シニアA	成人委員会の選考による	週2～3回
		シニアB	同上	週2～3回
		シニアC	本人の希望でだれでもはいれる	週1回
青年部	ユースチーム	ユース	同上(18歳以下)	週3～4回
少年部	ジュニアチーム	ジュニアA	同上　(中3)	週3～4回
		ジュニアB	同上　(中2)	
		ジュニアC	同上　(中1)	
	ボーイズチーム	ボーイズA	少年委員会の選考による　(小6)	週3回
		ボーイズB	同上　(小5)	
		ボーイズC	同上　(小4)	
		ボーイズD	同上　(小3)	
壮年部	ベテランズチーム	ベテランズA	だれでもはいれる(42歳以上)	月3～4回
		ベテランズB	同上(35歳以上)	
		ベテランズC	同上(30歳以上)	
		ドクターズ	同上　(医師)	
		P	同上(神戸少年スクール・少年会員父兄等)	
女子部	レディーチーム	レディーズ	女子ならだれでもはいれる	週1回

清水市へ初の遠征 12月下旬

神戸市少年選抜　少年たちの夢が実現

神戸市協会少年委員会（田上由雄委員長）は、本紙9月号でもお知らせしたように、今年度から少年選抜チームを編成しているが、このほどその代表16人が12月下旬、清水市へ遠征することが決まった。

選抜といっても、おとなのある程度完成された選手の中から選抜することと、小学生年齢の選手を選ぶのとは少し意味が違う。おとなの場合は一つのチームとして当然最強のチームを作り、勝つことが強調される。しかし、小学生は技術的、身体的また人間的にも未熟であり、これらを傷つけないような配慮が必要となってくる。小学生で選抜チームに入ったからといって、将来必ず上手になるとは限らないし、また選ばれなかったから望みがないということでは決してない。従って、小学生の場合は選抜の基準が非常にむずかしい。

とにかく初年度は、各チームの指導者から推薦してもらった約60人の6年生を対象に指導している。

この清水遠征は第5回全国選抜少年清水大会に参加するもので、12月25日から28日まで3泊4日で、町田SSS（東京）、下落合（埼玉）、全清水、全浜松、全藤枝（以上静岡）、広島大河など全国の強豪24チームが参加して行われる。大会はまず4ブロックに分かれて6チームが総当たりの予選リーグを戦い、その後上位チームがトーナメントで優勝を争う。目標はもちろん優勝だが、なにぶん初めての試みでもあり、負けても悔いの残らぬよう、個人の力を十分に発揮できれば、まずは目標達成としたい。

ところで、これまで「少年サッカーの育成」ということが強くさけばれて、すでに十数年になる。神戸は全国でも少年サッカー育成に比較的早くから手をつけた地域の一つであるが、これが盛んになった割には、青年からおとなにかけての年齢層のレベルアップに結びついていないようだ。少年委員会ではこの点を反省して「少年を育成する」という意味をもう一度考え直してみた。「少年を育成する」とは、少年サッカーを盛んにするということももちろんその一つだが、一人の少年を小学生から高校生年齢まで一貫した指導方針で、ある程度一人前の選手になるまで、長い目で育てないと真に少年を育成したことにはならないのではないか……。そこで、少年委員会では黒田和生技術部長をはじめ柴田寛（桜宮小）、志賀守（ひよどり台小）の三氏を中心に、選抜された60人の個人カードを作成し、運動能力や技術的な成長を追跡調査することになった。なにぶん少年委員会もスタッフ不足で、現在は細かいところまで手が届かないが、将来は小学3，4年生から各学年別にチームを編成し、できれば中学、高校生年齢の委員会とも十分な話し合いをもって、一貫した方針のもとで育てていきたいと考えている。（カ）

試合結果＝神戸市少年リーグ

【10月30日】①高倉台A4－1名倉A、①ひよどり台2－0高倉台C、③北五葉2－0多井畑、①多井畑8－0蓮池B、②箕谷B3－1蓮池C、②成徳C11－0神戸YMCA・B、②御影C2－0名倉B、②神陵台C4－1千歳C
【11月3日】①丸山A10－0、鵯越B、【11月6日】①成徳A1－1名倉A、②名倉B1－0神戸YMCA・B、①北五葉6－0神戸YMCA・A、③北五葉4－1渦森、①北須磨4－0渦森、【11月13日】②ひよどり台B1－0千歳C、①板宿A1－0蓮池B、①高倉台B0－0ひよどり台A、①箕谷A4－3高倉台A、③箕谷4－0多井畑、【11月19日】③桜宮1－0北五葉、③箕谷10－0蓮池B、【11月20日】③高倉台A3－0北五葉、②神戸FC・C0－0箕谷B、②東灘C3－1蓮池C、③高倉台A6－0高倉台B、②神陵台C2－0鵯越C、①千歳A3－1垂水SS、【11月23日】①板宿B3－1神戸YMCA・A、①成徳B2－0御影B、②成徳C2－0御影C、①成徳A5－0神戸SS、①蓮池A2－1多井畑A、③蓮池A3－0多井畑、③渦森7－0蓮池B

①：1部（小学6年生年齢以下）
②：2部（小学4年生年齢以下）
③：3部（女子小学生）